

留 学 報 告 書

記入日:

2018年9月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部／経済学科／
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2018年6月～2018年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年9月17日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月中旬～12月上旬 2 学期:1月上旬～3月中旬 3 学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	27300
創立年	1965

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	4914	545454円	
宿舍費	2076	232379円	
食費	1000	111000円	
図書費	300	33300円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	1000	111000円	
被服費	500	55500円	
医療費	0	0円	
保険費	675	75000円	形態:明治大学の保険とUCIの保険
渡航旅費	1150	127620円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	11615	1191353円	

渡航関連

渡航経路: 成田国際空港⇄ロサンゼルス国際空港

渡航費用

チケットの種類 往復券

往路 _____

復路 _____

合計 127620円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

学生寮 (Arroyo Vista)

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数2)

3) 住居を探した方法:

先輩方の勧め

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

広々としていて十分な暮らしはできます。しかし、キッチンやトイレ、シャワーを共同で使うため、すぐに汚くなります。きれいな方には最初抵抗があるでしょう

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッション オフィス

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅レジに登録した

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の中、学内では wifi が不便なく使えます

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使った

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

なんでも調達できます

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

クレジットカード

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 留学を通して何を身に付け何を学んだか、実体験と根拠に基づいて話せるようになった。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
university writing communication	ユニバーシティライティング コミュニケーション
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	session1
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Radmilovich, Thomas
授業内容	レポート、エッセイ、ドラフトの書き方を丁寧に学ぶ。周りの生徒とのディスカッションやお互いにアドバイスをする時間が多い。
試験・課題など	課題は無理のない範囲でしっかり課された。毎週末エッセイを書いて提出する課題があり、大変だったが、ためになった。筆記試験は期末のみで負担なく乗り越えられた
感想を自由記入	教授がとても親身になって丁寧に教えてくださいました。課題も多いなと感じましたが、何一つ無駄だと感じるものはなく英語力を上げるうえでも欠かせない知識や技術をたくさん学ぶことが出来ました。ライティングを上達させたい人にはお勧めです

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to International Relationship		国際関係論	
科目設置学部・研究科			
履修期間	session 1		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	Niayesh Vahid		
授業内容	小さな教室で20人ほどで行います。教室が小さいため教授やほかの生徒との距離感も近く、緊張感がありました。意見を求められたりすることが多かったです。ネイティブの生徒たちによる白熱したディスカッションには度肝を抜かれました。		
試験・課題など	レポートの課題はなく、毎週小テストがありました。いくつかのキーワードが示されそれについて論述でした。リーディングをしっかりこなせば十分ついていくことはできます。		
感想を自由記入	試験もただ暗記すれば乗り越えられるようになっていたのではなく、教授はその物事に対してどう考え分析していくかを一番大切にしていました。論述をするためには最低限の暗記が必要になりますが、それ以上に、国際関係上の問題について深く考察して論述する力が問われました。日本ではあまり体験できないだろう魅力的な授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Economy ECON13		グローバルエコノミー	
科目設置学部・研究科			
履修期間	session 2		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	George Sarraf		
授業内容	パワーポイントを使って教授がひたすら話し続けます。週一回のアシスタントによる補講は演習形式で講義で不足しがちな演習をしっかりこなせます。		
試験・課題など	ホームワーク2回と中間、期末試験が評価の対象となります。授業中の発表がないため、しっかりと対策を取らないと良い成績は取れません。教科書のリーディングとパワーポイントの確認を入念にして対策しました。		
感想を自由記入	とても聞き取りやすい英語を使っていたので授業が全く分からないということにはなりません。教授はユーモアあふれる方で冗談をたまに交えてきます。ほかの授業は教授の話す内容を聞き取ることができないことが多く冗談にもついていけませんでした。今回はネイティブと一緒に笑うことができました。経済学の基礎を学びたい人にはお勧めです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ECON 20 BASIC ECONOMY		ベーシックエコノミー	
科目設置学部・研究科			
履修期間	session 2		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	Fernandes Franco		
授業内容	ミクロ経済学の基礎から丁寧に解説してくれます。授業は聴講型で、聞き取れないところはパワーポイントを見て復習できます。		
試験・課題など	小テスト2回と3回のホームワーク、グループによるプレゼンテーションと期末試験がありました。		
感想を自由記入	経済学を専攻していない人が大半なので、そこまで内容は深入りもせず難しくはありません。背景知識を留学前に勉強していくと少し楽になると思います。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学 大学生のうちに留学することを決意
8月～9月	留学について本格的に調べる ハワイ旅行に行きアメリカ留学に憧れる UC のサマーセッションズを知る
10月～12月	TOEICの勉強 初めてTOEFLを受ける
2018年 1月～3月	カナダに 3 週間語学留学
4月～7月	自宅でオンライン英会話などを使い留学へ向けて独自に勉強
8月～9月	留学
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学生生活は楽しむことを最優先に考えていたのですがただ楽しいだけで何も将来に結びつかない 4 年間は嫌だったので親元を離れ異文化に身を置く留学を決意しました。もちろん元から洋楽が好きだったりアメリカの文化への憧れもあり単純に楽しめたかったという思いもありました。今の時代は英語が話せて当たり前という考え方が社会によく浸透してきているようで、英語力は今後も使える武器になるだろうと思い、留学をして語学力を向上させたいと思いこの英語圏への留学を決意しました
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	寮や学校には他国の多くの人があります。たくさんの異文化交流のチャンスは目の前にあるのに会話能力に自信がないとなかなか自分からは話しかけづらいものです。課題は現地でがんばればなんとかなると思うのでとりあえず英語を使ったコミュニケーション能力をできるだけ高めておくことをお勧めします。 ただ英語が喋れるだけじゃなく、例えば韓国やアメリカの音楽に詳しい、海外のスポーツについて詳しい、文化、歴史について詳しいなどなど、日本で準備できるバックグラウンドの知識はたくさんあります。中国、韓国、スペイン、ポルトガル語圏の人とは必ず出会うと思うのでその言語を使った基本的なあいさつなどができるとなお良いかもしれません。
この留学先を選んだ理由	カリフォルニア大学は世界でもトップレベルの大学でそのような環境に身を置きたかったこと、さらには 3 か月で停学する必要がなかったことが決め手です。僕はもともと英語がペラペラの海外経験豊富な人でもなかったので TOEIC の点数を上げるので精一杯でした。しかし、いつかはしっかりと英語でコミュニケーションをとって仕事がしたいという思いがあり、そのために高いレベルの大学と生徒がいるところに留学してたくさん刺激をもらい自分をもっと磨き上げれる必要があると思いこの留学を選びましたアーバイン校を選んだ理由は生徒への対応の手厚さです。留学時 2 年生だったこと英語が得意なわけではないことを考慮してアーバイン校よりもレベルが高いといわれているロサンゼルス校やバークレー校を選択肢からなくしてしまいました。しかし、これは勝手な思い込みであってどの学校も差はなく結局は自分がどうやるかが重要なんだと留学が終わってから気づきました。
大学・学生の雰囲気	勉強熱心で人柄がいい人が多いです。生徒は大学に学びに来ている印象がありました。ディスカッションなどになるとみんな積極的に意見を言い教授と論争になる場面もありました。大学自体は都心部から離れたところにあるため、周りに遊びに行くところはありません。それゆえか、生徒たちはのんびり過ごしている印象でした。明治大学のような都会のキラキラした大学生活とは違った生活が送れると思います。
寮の雰囲気	中国人がとて多かったです。リビングは共同で使い中国人と韓国人がその国特有の食事をふるまってくれたりしてくれました。一緒にパーティーを開いたりもしてとても楽しかったです。しかしその反面キッチンやシャワー室が汚れたりとよろしくないことも多々ありました。部屋は二人部屋で最初は抵抗があったのですが、お互いの文化について語り合ったりしてうちに心の底から打ち解けることができました。日常的な英会話も相部屋のおかげでかなり上達したと思います。
交友関係	留学生はアジア人がとても多く、学内のイベントや学外のアクティビティにいけばすぐ仲良くなります。どの人も、意識が高く尊敬できる人ばかりでした。ネイティブの友達ヨーロッパ系アジア系の友達、ここまで多くの文化の人たちと一時期に出会えるのはサマーセッションの良さなのではないかと思えます。
困ったこと、大変だったこと	体調を崩したことです。カリフォルニアは日本と違い朝、晩はとても冷え込みます。部屋に冷房がないくらいです。最初のころは新しい環境に対応できずに体調を崩す人が何人かいました 長袖、羽織るものが何枚かあるといいと思います。
学習内容・勉強について	スピーキングの面では日本人は全然しゃべれない方でとても苦労しました。でも、まずは積極的に話してみないといけません。現地の生徒や教授は親身になって話を聞いてくれます。授業は興味があるものや日本語でのあらかじめ学んだ知識がある授業をとることをお勧めします。

課題・試験について	リーディングの量が今まで体験したことないほど多かったです。一夜漬けの暗記で乗り越えられるテストではありませんでした。テストは記述形式のものもあれば選択肢のものもありました。最初のころはみんな心を折られながらも、なんとか耐え抜いて乗り越えていました。勉強量が多いため無意識のうちに英語力は上がったと思います。オフィスアワーも積極的に利用してなんとかくらいついていました。
大学外の活動について	寮のすぐ隣にとっても大きなジムがあったので週に二回くらいのペースで利用していました。日本では見ることができないようなゴリゴリマッチョが山ほどいてとても刺激を受けました。ほかに、週に一回のリーグ戦ができる大学主催のスポーツチームに入りました。そこでは、留学生はあまりなく、ネイティブばかりだったので毎週とても有意義な時間がすごせました。Language barrier はありましたがスポーツをしているときは何一つ barrier を感じることはなかったです。週末は毎週のようにどこかに行っていました。大学が準備してくれる旅行などを利用して、ラスベガスやグランドキャニオンにも行きました。とても楽しく新鮮な体験ができました。
留学を志す人へ	何かに挑戦したい、自分を変えたいなどただ楽しいだけの毎日を変えたい人には最適の留学だと思います。自分よりレベルの高い環境に身を置くことは辛いことですがそれによって得られるものは言葉では言い表せません。やるしかないという場面に遭遇した時、きっと自分が成長していることを実感できると思います。また、辛いことだけでもありません。ともに乗り越える仲間は日本人だけでなく、他国の人もいます。新しい発見、忘れられない思い出がたくさんできます。是非皆さんも一歩踏み出す勇気をもって留学に挑戦してみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	アクティビティ	アクティビティ
	授業	課題・予習	授業	課題	授業	アクティビティ	アクティビティ
午後	授業	課題・予習	授業	課題	ジム	アクティビティ	アクティビティ
	ジム	スポーツ	自由時間	予習	復習	アクティビティ	アクティビティ
夕刻	自炊	自炊	自炊	自炊	自炊	アクティビティ	アクティビティ
夜	課題	課題	課題	課題	課題	アクティビティ	予習